

“人”と“まち”をつなぐ「広報紙」

# え 広 報 び の

Public Relations



【特集】  
地域ぐるみで防犯対策 [P2 ~ 5]

〈写真〉「金環日食観測」にて (P14)

2012  
June  
No.548

6

【表1】空き巣ねらい等認知件数・無施錠被害件数 (平成23年)

市町村名	認知件数	無施錠被害件数	割合
えびの市	24件	19件	79.2%
宮崎市	305件	130件	42.6%
都城市	244件	129件	52.9%
延岡市	101件	41件	40.6%
日南市	17件	13件	76.5%
小林市	68件	41件	60.3%
日向市	58件	26件	44.8%
串間市	5件	1件	20.0%
西都市	50件	24件	48.0%



【表2】えびの警察署管内の刑法犯発生状況等

	認知件数等		
	平成22年	平成23年	平成24年
刑法犯	70件	79件	34件
窃盗犯	56件	64件	25件
自転車盗	4件	8件	0件
万引き	10件	12件	8件
侵入盗	18件	24件	8件

※平成24年は、4月末現在  
※認知件数とは、警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数。認知件数と実際の発生件数は一致しない場合があります。

## えびの犯罪発生マップ 平成23年1月1日～平成23年12月31日



# 狙われる県境のまちと高齢者 地域ぐるみで防犯対策

皆さんは、犯罪を他人事だと思っ  
ていませんか。上のマップは、平成  
23年中にえびの市で発生した犯罪の  
分布図です。マップを見るとえびの  
市内全域でさまざまな犯罪が発生し  
ていることが分かります。

### 狙われているえびの市

えびの市内の刑法犯認知件数は、  
年々増加しています。平成24年4月  
末現在では、刑法犯認知件数が34件  
とおよそ4日に1件はえびの市のど  
こかで犯罪が起きている状況です。  
えびの市での犯罪の中で、特に多  
いのが「窃盗」です。えびの市は、  
鹿児島県、熊本県に隣接しているた  
め、県外から来た犯人の犯行も発生  
しており、特に無施錠、高齢者宅が  
狙われています。平成23年は、侵入  
盗で24件の家庭が被害にあっていま  
す。被害にあった家庭のうち約8割  
が無施錠です。

宮崎県内の九つの市の中で、えび  
の市は最も無施錠による空き巣等の  
被害が多い状況です(表1)。また、  
盗難自転車の約半数が無施錠により  
被害にあっています。

### 家を出る時は必ず施錠

「うちには何も取られるものがな  
いし大丈夫だ」と思っていないま  
せう。犯人が奪うのは現金や物だけ  
ではありません。時には、人の命を  
奪うこともあります。また、「ちよっ  
とそこまで買い物に行くだけだから  
鍵はなくても大丈夫」と思ってい  
ませんか。この防犯意識の低さこそ  
が、犯人があなたの家をねらう条件  
の一つです。

### 泥棒に入られない心がけ

- ▼ 出かけるときは、必ず鍵をかけま  
しょう。
- ▼ 出かけるときは、近所に一声かけ  
ましょう。
- ▼ あやしい人がいたら、声をかけて  
確かめましょう。
- ▼ 旅行等で長期間、留守にするとき  
は、新聞等は止めておきましょう。
- ▼ 家にいるときでも、油断しないよ  
うにしましょう。
- ▼ 多額の現金を家に置かないよう  
にしましょう。
- ▼ 寝る前に必ず鍵を確かめる習慣  
をつけましょう。
- ▼ 盗難被害にあったときは、現場を  
そのままにして、すぐに警察へ  
110番 通報しましょう。

Interview



えびの警察署  
刑事生活安全課  
課長 安武年親さん

家庭での防犯対策の徹底を

鍵かけなどの重要性を意外と軽く考えている人が多いです。犯人は農村地帯の高齢者を狙っています。特に、えびの市は、三県が交差する場所のため県外の犯人の犯罪も発生しています。また、侵入盗は夏場に増加する傾向にあります。物を取られてからでは遅く、取られたものは返ってくるとは限りません。時には命の危険さえあります。

そうならないためにも、鍵かけなど防犯対策の徹底をお願いします。



京町駐在所連絡協議会  
会長 大城戸留夫さん

一人ひとりの防犯意識が大切

京町駐在所連絡協議会では、青パトロールカーでの見守り活動や街頭でのパンフレット配布などの防犯啓発活動を行っています。

街頭活動の時に「買い物時には家の鍵をかけていない」とよく聞きます。防犯に対する意識が浸透していないのが現状です。被害にあわないためにも、鍵をかけて外出するなど一人ひとりの防犯意識が大切です。

今後も啓発活動など行い、少しでも地域防犯の輪を広げていきたいと考えています。



無施錠の自転車がいないか駅の駐輪場を見回る防犯ボランティア

いつ、どこで、誰が犯罪被害にあうかわからない中で、犯罪から家族や財産を守るためには、一人ひとりが高い防犯意識と正しい防犯知識を持つことが大切です。そして、視点を身近なところから地域全体へと広げながら、具体的な防犯行動をおこなう必要があります。

犯罪の多くは、地域の中でも、人が見ていない場所、人の目につかないような場所で発生しています。逆に言うと、人の目がある場所では、犯罪は起こりにくくなるものです。侵入犯罪者の約6割が、「声をかけられたので犯行をあきらめた」と答えています。

犯罪を防ぐためには、警察が犯罪の取り締まりを強化することも重要ですが、その地域で暮らす住民自らが周囲に目配りをし、地域ぐるみで犯罪を抑止していくことが重要です。

地域では、自治会（区・分区）、PTA、高齢者クラブ、地域防犯活動団体などさまざまな団体が活動を行なっています。これらの団体で声

# みんなできつくる 安心のまち

を掛け合い、防犯まちづくりに向けた話し合いの機会をつくっていきましよう。防犯に限らず、学校などを中心として、校区内で協議・連携の場をつくり、防犯の議論を進めていくことも有効です。

ウォーキングを兼ねたパトロールや近所の人とのコミュニケーションなど、色々な楽しみを見つけないながら取り組むことが重要です。このことで継続して活動できるようにするとともに、新たな参加者を呼び込むことも期待できます。

地域の人だけの取り組みでは限界もあります。住民と行政が連携し、協働を進めていくことが重要です。警察、学校などにも声をかけ情報交換や協力体制をつくっていきましょう。

多くの関係者が協働して取り組むことにより活動の幅が広がるとともに、適切に役割分担をしながら進めていくこともでき、個人の負担の軽減や、「まちぐるみの取り組み」として広く認知されることにもつながります。

### 家の安全チェックポイント

あなたの家を点検してみてください  
安全な家のためのチェックポイントです。あなたの家の防犯対策は万全ですか？

- 「2階だから大丈夫」などと考えて窓を開けっ放しにいませんか？
- 家のまわりに犯罪者が潜めるような場所がありませんか？
- 補助錠を取り付けていますか？
- 引き違い戸は片方を固定し、抱えはずしを防いでいますか？
- 庭木や塀などの死角になっている窓は、簡単に割られてしまいます。キー付きクレセントや防犯性の高いガラスなどを取り付けていますか？
- ドアスコープかテレビドアホンを取り付けていますか？
- 車の鍵はかけていますか？
- 塀の内側が死角になっていませんか？
- よじ登れそうな樹木を家に接近して植えていませんか？

# 公営企業の財政状況

えびの市の公営企業（水道事業・病院事業）の財政状況については、毎年6月と11月に公表しています。今回は、平成23年10月1日から平成24年3月31日まで（平成23年度下半期）の予算の収入と支出の状況についてお知らせします。（四捨五入の関係で、数値、率が一致しない場合があります）

## 水道事業

..... Data .....

### ◎水道業務量

平成23年10月1日～平成24年3月31日

- 【給水戸数】 8,556戸
- 【給水人口】 19,319人
- 【下半期給水量】 988,984m<sup>3</sup>
- 【1日平均給水量】 5,404m<sup>3</sup>
- 【1人1日平均給水量】 279.7ℓ
- 【普及率】 77.3%

### ◎借入金残高

9億8,837万円

■お問い合わせ先  
えびの市水道課経営管理係  
(内線 291)

### 【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
水道事業収益	325,908,000	168,342,387	324,378,956	99.5
営業収益	324,990,000	167,412,757	323,383,979	99.5
営業外収益	915,000	919,630	984,977	107.6
特別利益	3,000	10,000	10,000	333.3

※収入の営業収益は、水道料金や手数料、水道加入金など。営業外収益は量水器評価額など。

### 【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
水道事業費用	289,398,000	159,379,016	286,873,951	99.1
営業費用	266,934,341	144,815,938	262,449,934	98.3
営業外費用	21,673,000	14,122,687	23,941,311	110.5
特別損失	485,000	440,391	482,706	99.5
予備費	305,659	0	0	0.0

※支出の営業費用は、原水および浄水費、配水および給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など。

## 病院事業

..... Data .....

### ◎病院業務量

平成23年10月1日～平成24年3月31日

- 【病床数】 50床
- 【患者数（入院）】 5,555人
- 【患者数（外来）】 18,724人
- 【1日平均入院患者数】 30.4人
- 【1日平均外来患者数】 156.0人

### ◎借入金残高

4,027万円

■お問い合わせ先  
えびの市立病院  
☎ 0984 - 33 - 1023

### 【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
病院事業収益	919,253,000	389,808,472	895,966,411	97.5
医業収益	835,725,000	378,537,360	811,619,307	97.1
医業外収益	83,527,000	11,271,112	84,347,104	101.0
特別利益	1,000	0	0	0.0

※収入の医業収益は、入院収益、外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

### 【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
病院事業費用	987,307,000	511,727,591	958,812,344	97.1
医業費用	985,156,000	488,777,957	935,172,381	94.9
医業外費用	1,830,000	22,830,214	23,520,543	1285.3
特別損失	121,000	119,420	119,420	98.7
予備費	200,000	0	0	0.0

※支出の医業費用は、給与費、診療材料費、電気代などの経費、研究研修費など。医業外費用は、企業債の償還利息など。

# 情報公開・個人情報保護制度の運用状況を公表します

情報公開条例および個人情報保護条例に基づき、市は、毎年その運用状況を公表しています。平成23年度の運用状況を以下のとおり公表します。

### \* 公文書公開の実施状況 \*

請求件数	全部公開	一部公開	非公開	不服申立て
7件	5件	1件	1件	0件

表中の『一部公開』については、公にすることにより、特定の個人や法人等の権利、利益を害すると認められる情報、事務や事業の適正な遂行に支障を及ぼすと認められる情報に該当するとして一部が非公開とされたものです。表中の『非公開』については、「該当する公文書が存在しない」ものです。

### \* 会議の公開の運営状況 \*

市では、情報公開条例に基づき、審議会等の会議を公開しています。これは、市のさまざまな計画や施策の決定過程を広く市民の皆さんに公開することにより、市政に対する理解を深めてもらい、開かれた市政の実現を図るために行っているものです。

	平成23年度	平成22年度
会議の開催回数（a）	142回	119回
公開された会議の回数（b）	117回	89回
非公開とされた会議の回数	25回	30回
傍聴者数（合計）	6人	2人
公開率（b/a）	82.39%	74.79%

### 《昨年度との比較》

公開された会議の回数は28回増、非公開とされた会議の回数は5回減となり、公開率では7.6ポイント上がりました。非公開（一部公開を含む。）とされた会議は、個人情報に関する部分や審査・評価に関する事項についてのみ非公開としたものと会議開催の事前公表を行わなかった会議です。

### \* 個人情報保護制度の運用状況 \*

開示請求	訂正等請求	不服申立て	目的外利用	外部提供	個人情報取扱事務登録件数（平成24年4月1日現在）
0件	0件	0件	0件	5件	262件

表中の『個人情報取扱事務登録件数』とは、市の事務のうち、個人情報を収集・管理・利用・提供する事務について、個人情報取扱事務目録に登録している事務の件数をいいます。内訳は、市長部局168件、教育委員会54件、農業委員会17件、選挙管理委員会15件、議会3件、監査委員2件、固定資産評価審査委員会2件、公平委員会1件となっています。

■お問い合わせ先  
えびの市総務課行政係  
(内線 311・314)

4 部会、31 人の先生に委嘱状を交付  
えびの市ならではの一貫教育を目指して



委嘱状を受け取る教育研究センター座長の唐仁原幸吉さん

**市**では、平成21年度から市内すべての小学校で、一貫教育を実施しています。市には、一貫教育を研究し、その研究成果を、市内の学校に広げ、各中学校区ならではの一貫教育を目指すための推進員部会があります。5月28日、市役所で、一貫教育を推進する各部会に、委嘱状の交付が行われました。

今年度は、部会の一部見直しを行い、一貫教育推進員部会を学力向上推進員部会に、えびの学、英会話科、英語表現科推進員部会を、資質向上推進員部会に名前を改めました。さらにセレクト国語・算数推進員部会を設け、えびの市の一貫教育の充実を目指します。教育研究センター座長に委嘱された唐仁原幸吉さん(岡元小学校教頭)は「子どもたちの学力向上を目指し、がんばっていききたいです」と話していました。

**家庭教育学級通信**

◎家庭教育学級の紹介

真幸小学校家庭教育学級を紹介いたします。

真幸小学校家庭教育学級は、全PTA戸数を対象として、年間10回程度の活動を行っています。

平成23年度は、5月の開級式に始まって、親育て講座、親子創作活動、親子レクリエーション、そば打ち体験、保健・人権学習などを行いました。

親子創作活動では、クレヨンで削って着色したカラーキャンダルを作りました。型を抜いたり、飾りを付けたり

と楽しい講座となりました。親子そば打ち体験活動は、年の瀬も近いということもあり、親子総勢46人が参加しました。

はじめは、慣れない手つきで、そば粉と格闘していましたが、だんだんコツがつかめてきて、みんな上手にそばを打っていました。

最後に、自分たちで打ったそばをおいしくいただきました。親子の会話も弾み、楽しい思い出となりました。

保健講座と人権学習は、幼稚園・保育園・岡元小・真幸中にも呼びかけて、合同の学級を開催しました。お互いのことを知りあう良い機会となり、勉強にもなりました。これらの活動を通して、学級生同士の親睦も深まり、たくさんの方の学級機会になりました。



親子で楽しく参加したそば打ち体験



真幸小学校家庭教育学級長 上野秀子さん

「ぶらんど 21 助成金」事業  
助成金交付団体の活動実績を報告します

**市**では、市民の皆さんが主役になって自ら行う地域づくり、まちづくり活動に対し、助成金を交付する「ぶらんど21助成金」事業を行っています。

平成23年度は、13団体が助成金の交付を受け、まちづくり活動を行いました。その活動の実績をお知らせします。

【ぶらんど21助成金とは】  
私たち市民が市内にある豊かな歴史や文化、産業をしっかりと見つけ、誇りと自信を持っていきいきとしたまちづくり活動が行われることを進めるために、予算で定める金額を上限としてその活動を行う団体やグループ、自治公民館などに助成金を交付するものです。

【助成の対象となる活動は】  
助成金の対象になる活動は、次の3つの活動です。

- 豊かな生活環境の創出につながる活動
- 市民文化の高揚につながる活動
- 産業振興につながる活動

☎ 市民協働課市民協働係 35-11111 (内線352)

\*平成23年度ぶらんど21助成金交付団体活動実績\*

団体名	活動実績	団体名	活動実績
六本原開拓記念碑会	六本原開拓記念碑周辺の公園整備、つづら棚田への研修と記念碑沿道の桜木の手入れ等を行いました。	八幡丘をきれいにしつみりる会	八幡丘公園をきれいにするため、沿道の草刈りや桜・ツツジの植栽を行いました。
田代ひまわりロードプロジェクト	ひまわりの植栽や納涼祭り、地元産品を材料にしたスイーツの試作を行いました。地区に残る伝統行事を後世に伝える事を目的とした行事実施のための環境整備を行いました。	笑農会	伝統の味を地域の人と守っていくための活動を行いました。また、田植え・稲刈りツアーを行い、全国にえびの市の農産物や観光をアピールしました。
真幸EM研究会	真幸小学校児童への環境学習の支援。新春おもしろ談笑会を開催し、グループ討議を通じて代表者が発表するなど会員の行動力と知識の向上を図りました。	自衛隊基地等を考える市民の会	自衛隊施設周辺住民との意見交換・座談会、自衛隊のまちをアピールする看板の設置などを行いました。
湯ぎゃん実行委員会	えびの市内の温泉施設の情報収集・確認作業を再度行い温泉マップを作成しました。また、テレビ局や新聞社に積極的に情報を流し、市の内外にえびの市の温泉やパワースポットなどをPRしました。	ちゃいむ子どもと共に歩むえびのの会	市民向け児童虐待防止講習会・商工会女性部対象大人ワーク・教職員ワークを行いました。
ガッツ!かつつ	えびの駅舎の周辺を整備しました。8月には駅広場で納涼ビアガーデンを開催しました。	花とEMで潤いのある町づくり委員会	遊休地等に花と花木を育て、花の社会性を生かした温泉郷に適した景観づくりを行いました。
真幸駅まつり実行委員会	真幸駅開業100周年を記念し、来駅者のおもてなしや交流を深めるため、えびのの産業や文化などを紹介しました。	京町温泉旅館組合	新商品の開発、普及、試作品の作成と商品化の準備を行いました。
		西内堅ふれあいクラブ生産組合	真幸駅を訪れる観光客のもてなし事業と景観整備の草刈りを行いました。

※六本原開拓記念碑会、田代ひまわりロードプロジェクト、真幸EM研究会、湯ぎゃん実行委員会は、23年度で助成交付が終了



「田代ひまわりロードプロジェクト」のひまわり迷路



「ガッツ!かつつ」主催の夏祭りビアガーデン準備の様子

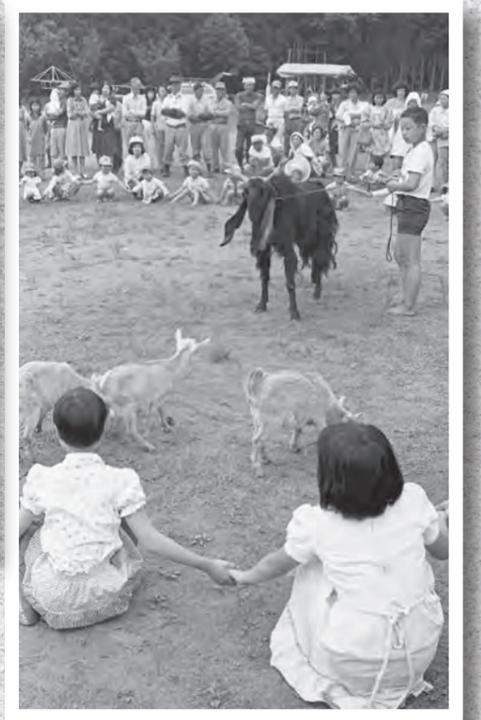
# あの時、あの頃

あの時のえびの市を広報紙で振り返る

今月は、33年前の広報紙にタイムスリップ



**山の分校に動物園がきた**  
 「わあーい。チンパンジーだ。ニシキヘビだ」と、子どもたちの声は喜びに沸き上がりました。  
 6月5日、加久藤小学校尾八重野分校、6日、岡元小学校にフェニックス自然動物園から「移動動物園」がやって来ました。  
 この移動動物園は、フェニックス自然動物園が社会奉仕の一環で行っているものです。20種類50点の動物が連れられてきました。  
 (昭和54年6月掲載)



※このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

## がんばる！公民館

### 住みよい地域づくりを目指して

(上原田自治公民館)



ふれあい小菜園での収穫

上原田地区は、16年前、「ふれあいの町づくり」の指定を受けました。婦人部は、その指定を機に「ひまわり会」を発足し、「地域支え合い事業」の活動を始めました。  
 地域支え合い事業では、婦人部の面々が、食材や調味料等を持ち寄り、愛情たっぷり「手づくりランチ」をつくります。

高齡者と子どものふれあいの場として「ふれあい小菜園」事業を行っています。収穫時期には、高齡者と子どもが収穫したものを調理して、楽しい食事会となります。  
 高齡者クラブでは、自分の趣味を生かした四半的やグラウンドゴルフなどで健康づくりをしています。この健康づくりは、日々の子どもの見守り活動の充実にも大きく寄与しています。

育成会では、十五夜祭を開催していましたが、子どもの減少により、開催できない状況です。子どもが増え、十五夜祭の復活ができればと願います。  
 地区では、少子高齡化が進む中、人と人のふれあいを大切にし、区民一体となった、個性豊かな住みよい地域づくりを目指していきたいと思えます。



上原田自治公民館長 山形幸雄さん

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称

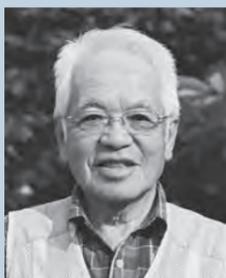
## 環霧島探訪「かんきりしまたんぼう」その2



今月は、霧島山の魅力をガイドとして案内している人を紹介します。  
**◆山は人を変え人は山で変わる**

平成10年から霧島トレッキングガイドクラブでガイドをしている霧島市準人住の齊野耕一郎さん(75)。もともと鹿児島市出身の齋野さんが山に登るようになったきっかけは、19年前の石川県白山でした。そこには、きれいな花や壮大な風景が目に見え込んできました。それから山に魅了され、いつしかいろいろな山を登ってみたいと思い始めました。当時の霧島は、中

「今まで1000回以上登りましたが飽きたと思っただことは一度もありません。一年間を通して変わる風景、一日だって同じ景色はなく、山は本当に素晴らしい。そして初心者から健脚者まで体力・技術に応じて楽しむことができ、私たちに感動を与え、心を癒やしてくれます。これからもガイドをしながら大切な山を守っていききたいです」と話します。  
**新燃岳の噴火で現在、半径3km圏内は立ち入ることはできませんが、他にも魅力的な山はたくさんあります。**  
 齊野さんは、いつか霧島縦走のできる日を信じて霧島山の魅力を皆さんに発信していきます。



齊野耕一郎さん



救急車の前で思いを語る徳重さん

# 徳重隆太さん

## 一刻を争う救命措置 日頃からの備えが大切

Ryuta Tokushige  
とくしげ・りゅうた / 26歳 / 前松原区  
／趣味：野球・ソフトボール・スポ  
ーツ観戦（スポーツは何でも）。

「消防には自然災害や火災への備え、救命率の向上などさまざまなテーマがあります。発表会に参加して勉強になりました」と話すのは、徳重太さん（前松原区）です。徳重さんは、今年4月12日に開催された県消防職員意見発表会に参加。徳重さんの提

案が最優秀賞に選ばれました。徳重さんは、平成20年度に西諸広域行政事務組合消防本部に入り、現在、えびの署で救急救命士として勤務しています。消防士になるきっかけは父親の姿でした。「幼い頃から

父が消防団員として地域で活躍している姿を見てきました。自分も何か地域、人に貢献できないかと思い、消防士になりました」。意見発表会では、データ放送を活用し、テレビから映像と音声、心臓マッサージのリズムが流れる仕組みを提案し

ました。「救急要請で出動した時、家族が電話で心肺蘇生法の指導を受けていたにもかかわらず、何もできずに立ちつくしていた姿を見ました。誰もが迅速で効果的な蘇生法を行える方法はないかと考えました」。「心肺蘇生は、一刻を争い

ます。消防隊員が到着するまでの時間が大切です。その間、少しでも救命措置をしてもらえれば」と初期の救命措置の大切さを訴えます。「消防署では、地域などでの救急救命講習会に職員を派遣しています。是非ご利用ください」

### えびの自慢のおいしい料理



### ◎今月一品 米粉を使ったさつま揚げ

レシピ

**【材料】（4人分）**  
 イワシ.....8尾  
 ゴボウ.....1/2本  
 ニンジン.....1/2本  
 ショウガ.....少々  
 サラダ油.....揚げ油用  
 A:卵（1個）、みそ（大さじ1）、酒（大さじ1）、ショウガ汁（小さじ2）、米粉（大さじ2）

**【作り方】**  
 ①イワシは手開きし、骨と皮を除き、すり鉢ですり身にし、Aを加える。  
 ②ゴボウはささがきに、ニンジンは細切りにし、①に加えて全体をよく混ぜる。  
 ③②をスプーンで形をまとめながら180℃の油に静かに入れ揚げる。

recipe

今月紹介するのは、ふるさと料理教室でつくった「米粉を使ったさつま揚げ」です。油を吸収しにくい特性を持つ米粉をつなぎに使う事でヘルシーに仕上がります。食感もサクサクとしたものになります。入れる具材を変えることでバリエーションも広がります。家庭でしか味わえないさつま揚げをつくってみませんか。



【紹介者】  
ふるさと料理教室のみなさん

# えびのののの つまかもん

「えびのうまいもの」

vol.50



市民図書館読書講演会  
取材で出会ったいい話

5月26日、市文化センターでえびの市民図書館読書講演会が行われました。講演会には、市民ら約60人が参加しました。

この講演会は、図書館の利用促進と読書推進を目的に毎年行われています。

講師には、みやざき中央新聞編集長の水谷もりひとさんが招かれました。水谷さんは「取材の現場から心を揺がすいい話」の演題で、取材での人との出会いや共感した話などを講演しました。



第2回文化フェスティバル  
笑って元気な口演

5月13日、市文化センターで「第2回文化フェスティバル」が行われました。講演会と芸能発表の2部構成で行われたフェスティバルには、約200人の市民が参加しました。

講演会の講師には、おおいた観光大使の矢野大和さんが招かれました。矢野さんは大分の方言を交えながら「新しいことに取り組むなど、生涯現役の気持ちが大切」と話していました。

ある参加者は「話を聞いて元気が出た」と話していました。

6月1日から7日の水道週間に合わせて  
高齢者宅の水周りを点検

6月1日、えびの市管工事協同組合（12社加盟）の組合員24人が、1人暮らしの高齢者宅の水道点検をボランティアで行いました。

この取り組みは、水の大切さや水の使えることの大切さを改めて考えてもらおうと、水道週間に合わせて毎年行われています。

今年も、飯野北地区の11軒を訪問。同組合員の皆さんは、水漏れ箇所や蛇口の点検などを行いました。



駐屯地創立31周年記念行事  
創立以来の市中パレード

5月19日、20日、駐屯地創立31周年記念行事が行われました。19日には、車両49台に分乗した隊員150人が市役所東側の道路をパレードしました。市中パレードが行われたのは創立以来です。観閲台に隊員がさしかかると台上の連隊長や市長に敬礼を行っていました。沿道にはパレードを見ようと多くの人でにぎわっていました。

20日に駐屯地で行われた記念行事では、観閲行進や訓練展示などが行われました。



牛乳を贈ろう父の日キャンペーン  
父の日に乳（ちち）を

6月1日、えびの市酪農青年女性部の代表3人が市長を訪問。牛乳消費拡大のPRを行いました。

宮崎県酪農青年女性連絡協議会では、「6月19日の父の日は、牛乳（ちち）を贈ろう父の日キャンペーン」を行っています。同部は、市長に牛乳30パックを贈り、牛乳消費拡大を願い牛乳で乾杯をしました。

小多田秀次部長（今西区）は「キャンペーンで、牛乳の消費が増えれば」と話していました。



加久藤中で金環日食観測会  
日食のリングに感動

5月21日、加久藤中学校グラウンドで「金環日食観測」が行われました。観測には、生徒ら約150人が参加しました。

この観測は、めったに見る事の出来ない金環日食を生徒全員で見ようといわれたものです。

あいにくの曇り空でしたが、時折見える日食に生徒たちは歓声を上げていました。

山口瑚南さん（1年）は、「珍しい金環日食を見ることができ、感動しました」と話していました。

ありますか、好きだと言える一冊が。

## おすすめの 一冊



### 江戸時代のハローワーク

山本真吾 / 著  
(双葉社)

口入れ屋、実は現代でいうハローワークの事です。江戸時代にもあったそうです。

江戸時代の職業は、身分制により、今のようには自由には選択できません。さまざまな業種や時代背景とともに庶民の暮らしもわかる一冊。現代の職業のルーツとなるものが江戸時代にあったという事がうかがえます。

もし、この時代に就職するとしたら、どの職業を選びますか。

### BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

### Editor's

◎編集後記

今月の特集の防犯。わが家を考えてみると、なかなか防犯対策をしていないのを感じました。唯一の防犯対策としては、愛犬がいるだけ…。わが家の愛犬は、番犬どして家を守っているのだろうか不安です。

この特集を機に、出かける前の鍵かけなど家の防犯対策を見直したいと思います。(川野)

### ◎えびの市の人口

男性 / 9,933 人 (-11人) 転入 / 48人  
女性 / 11,161 人 (-4人) 転出 / 52人  
合計 / 21,094 人 (-15人) 出生 / 11人  
死亡 / 22人

### ◎えびの市の世帯数

9,252 世帯 (-3 世帯)

(平成 24 年 6 月 1 日現在)

### 今月の納税

市民税  
介護保険料  
7月2日までに納めましょう。

第1期  
第2期

## 心の一首一句

短歌

新緑の遠方眺め安らげる  
木々の若葉は揺れて輝ぐ

上江区 山本ハヤ子

六月は緑雨の季節。五月の若葉が六月の雨に濡れやがて盛夏の濃い緑へと変わってゆく。季節の移ろいの中で野山の若葉は光り満ち溢れている。人は大自然の恵を受け生かされていることへの感謝と安らぎを作者は沁みじみと感じている。素直な自然詠である。(評 竹下妙子)

俳句

磐梯や季節はずれの花木

中島区 宮崎キヨ子

「コラッセふくしま」の12階ラウンジは、震災から復興へ向けて立ち上がる人でいっぱいだった。3月11日に続いて一瞬のうちに全てが崩壊し、虚と化したスポットは、ながく取り戻せない。山々の尾根にもまだ残雪があり、並木にも季節はずれの花水木、こまりの白い花が哀みを秘めて黙している。重苦しく切ない街通りを過ぎ、人の心の温もりと物が動き出す街にもどってくださいと願いつつ「ふくしま」を後にした。(自註)

詩

時

一日の始まりを 小鳥の声と静かに迎える

上浦区 玉村キクエ

そんなひと時

ふと立ち止まり足元の「ありんこ」と語らう

そんなひと時

雨上がりの若葉よりこぼれる雨のしずくの

美しさに見とれる

そんなひと時

そんなひと時

また帰っておいで…

### あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで



## いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

### 肝臓を大切にしましょう!

■高妻保健師 (健康保険課)

私たちが毎日取る食事に含まれる糖分、脂肪分、たんぱく質などの栄養分は、そのままでは利用できません。それらの栄養分は、胃や小腸で分解・吸収されます。その後、栄養分は必ず肝臓に運ばれます。

肝臓は、私たちが日常生活でしっかりと動けるよう、栄養分をコレステロールや中性脂肪などに変えて蓄えます。必要な時は、再び栄養素に変えて、体を循環させています。この他には、取った食べ物に含まれる食品添加物や菌、アルコールなどの有害な物を無害な物に変える解毒の役割も果たし、最後には尿として排泄させています。

このように肝臓の役割はさまざまですが、その中で、最優先して行われるのが解毒です。解毒の中で代表的なのがアルコールの分解です。肝臓がアルコールを分解することで、二日酔いや悪酔いは無くなります。

しかし、体の中に多くの有害なものが入り込見過ぎると、肝臓は解毒に追われ、その他の栄養分の蓄えや体への循環がうまくできなくなってしまいます。肝臓の機能を十分生かすためには、お酒を飲む量に注意が必要です。

また、食べ過ぎると常に肝臓が働き続けることになり、次第に処理能力が弱まっていきます。その結果、脂肪が溜まり、肝臓自体が肥満(脂肪肝)になりますので食べ過ぎにも注意が必要です。

肝臓は、私たちの体にとってとても重要な役割を果たしますが、異常があってもなかなか症状が出ない「沈黙の臓器」とも言われています。肝臓の機能に異常がないかを確認することができるのが血液検査です。自覚症状がなくても年に1度は健診を受けてください。

## 男女共同参画だより

### 毎年、6月23日から29日は「男女共同参画週間」です

男性と女性が共に、職場や学校、地域や家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる『男女共同参画社会』を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、事業所や市民のみなさん、一人ひとりの取り組みが重要です。

「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月に施行されて13年になります。平成22年12月には、国の「第3次男女共同参画基本計画」が策定されました。これを受け宮崎県では、平成24年3月に、新たな「みやざき男女共同参画プラン」を策定。えびの市では、「えびの市男女共同参画プラン」を平成16年7月に策定するとともに、平成22年4月には「えびの市男女共同参画推進条例」を施行しました。

市では、男女共同参画について市民の正しい理

解と認識を高めてもらうため、フォーラムやセミナーを開催しています。

少子高齢化の進展、家族形態の多様化、地域社会の変化、社会経済情勢の変化等に対応していく中で、女性にとっても男性にとっても生きやすい、そして住みよいまちえびの市を築いていくためには『男女共同参画社会』の実現は重要な課題です。

この「男女共同参画週間」を機会に、私たちのまわりの男女のパートナーシップ(協力関係)について考えてみませんか?



## チャレンジSHOPオーナー再募集

京町温泉活性化プロジェクト会議では、京町銀天街付近の空き家を再生し、回遊性による活性化を図るために、リフォーム済み物件をチャレンジSHOPとして活用する人を募集しています。区費等の協力金は各自で負担しますが、家賃・光熱水費については、助成制度があります。

規定の応募書類に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先に持参または郵送してください。

### 【応募資格】

①当チャレンジショップが新規開業の人（原則として小売業）

②出店前後の研修や講習、会議等に参加できる人

③お住まいの自治体への租税等を滞納していない人

【契約期間】契約日から2年間を契約期間とし、再選考の上更新します。

【開店予定日】平成24年11月26日（月）※予定

【応募締切】平成24年7月2日（月）

【選考方法】オーナーの選考は、企画提案書等書類審査の上、面接を行います。

☒京町温泉活性化プロジェクト会議（空家再生部会）市観光商工課観光係

☎35-1111（内線331・332）

## 西諸土地改良区設立に伴う同意のお願い



西諸地区（小林市、えびの市、高原町）では、畑作地帯（畑3,620ha、水田530ha）に農業用水を安定供給し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図ることを目的に、畑地かんがい事業を推進しています。

平成25年度には、国営西諸事業および県営事業を活用して作った「浜ノ瀬ダム」、「坂下ファーム Pond」、「パイプライン」などの土地改良施設を維持管理するため「西諸土地改良区」を設立します。設立にあたり本年度関係農家に同意をお願いすることになりますので、ご理解とご協力をお願いします。

☒市畜産農林課畑かん推進室

☎35-1111（内線227・228）

## 環霧島周遊列車に乗ってみませんか

ゆったり列車にゆられながら、霧島山周りの景色を眺める旅に出発しませんか？貸切の臨時列車が、都城駅を出発して霧島山麓を1周します。途中の5つの駅ではそれぞれの地域の特色あふれるおもてなしが用意されています。

【運行日】7月27日（金）

【時間】午前9時10分（都城駅発）、午後2時56分（都城駅着）

【集合場所】都城駅※当日は、直接現地集合

【定員】80人（定員に満たない場合は、走りません）

【料金】3,900円（昼食代込み）

【申込先】JR九州旅行鹿児島支店 ☎099-253-2201

☒市観光商工課観光係

☎35-1111（内線332）

## ご利用ください。労働相談

県では、県内の労働者、労働組合や事業主等に対して労働相談を行っています。

また、事業主から依頼があれば、労働施策アドバイザー（社会保険労務士）が訪問し、労務管理や労働環境整備に関する指導や研修を行っています。お気軽に相談ください。

【日時】平日の午前8時30分～午後5時15分

【相談方法】電話または面談

【費用】無料

☒都城県税・総務事務所総務商工センター

☎0986-23-4518

## 節電にご協力をお願いします

原子力発電所の停止に伴い、今夏は節電の効果を見込んだとしても電力供給は極めて厳しい状況が予想されます。

7月2日から9月7日までの平日（8月13日～15日を除く）、生活や経済活動に支障のない範囲で節電をお願いします。特に、午後1時～午後5時（ピーク時間帯）については、さらに電力の需要供給状況が厳しくなる見込みです。10%以上の節電を目標に、ご協力をお願いします。

します。

☒九州電力（株）都城営業所

☎0120-986-705

## 寿屋、桜デパート、アヅマヤ百貨店の商品券をお持ちの皆さまへ

旧：株式会社寿屋（寿屋）（現：株式会社KTB）旧：桜デパート（鹿児島県鹿屋市）、旧：アヅマヤ百貨店（宮崎県延岡市）が発行した商品券をお持ちの方は、資金決済に関する法律に基づき、同社が供託している発行保証金から還付を受けることができますので、以下の方法で申し出を行ってください。

【申出受付期間】平成24年8月24日（金）（消印有効）

【申出方法】債権の申出は郵送のみで受け付けています。申出書、商品券等を九州財務局（下記宛先）に郵送してください。

【申出書の入手方法】

(1) ホームページ（<http://kyusyu.mof.go.jp/>）。

(2) 郵送配布＝九州財務局にお問い合わせください。

(3) 直接受け取り＝九州財務局、大分・宮崎・鹿児島各財務事務所に備え置いています。

※詳しくは、九州財務局までお問い合わせください。

☒九州財務局 理財部 金融監督第三課

〒860-8585 熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎8階

☎096-353-6351（内線3244・3243）

## 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」短歌募集

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会では、介護や支援を受けている高齢者などを対象に短歌を募集します。

【応募資格】

【要介護・支援高齢者の部】60歳以上で軽費老人ホーム、介護保険施設（特別養護老人ホーム等）等の施設に入所している人または訪問介護、通所介護、通所リハビリテーションの居住サービス等を利用している人

【介護者の部】高齢者を介護している家族、施設職員およびボランティア等、医療・介護を学んでいる学生

【応募条件】テーマは自由です。ただし、作品は未発表のもので、一人二首以内とします。

【募集期間】6月1日（金）～7月31日（火）

※当日消印有効

【応募方法】市役所長寿介護課にある応募用紙に、必要事項を記入の上、宮崎県社会福祉協議会へ郵送またはファックスしてください。

【応募先・問い合わせ先】

〒880-8515 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内 宮崎県社会福祉協議会 長寿社会推進センター「全国短歌大会募集」係

☎0985-31-9630 FAX0985-31-9665

## 119 だより



### ドクターヘリ、えびのまで15分

ドクターヘリは、宮崎大学医学部附属病院に常駐し、消防からの出動要請に基づき、救急医療専門医や看護師が同乗して現場に赴き患者の観察および処置を行います。必要に応じて救命医療を行いながら医療機関に搬送する専用ヘリコプターです。

この運航により、ヘリコプターが離着陸する際にプロペラによる強い吹き下ろしや騒音、砂ぼこりの巻上等が発生します。大変危険ですので決してヘリコプターに近づかず、消防署員等の指示に従うようご協力をお願いします。

5月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	2件	年計	5件
	救急	63件	年計	342件

■えびの消防署 ☎33-6119

## 110 だより



### 夏の交通安全県民総ぐるみ運動実施

7月11日（水）から7月20日（金）までの10日間、県内一斉「夏の交通安全県民総ぐるみ運動」が実施されます。

市民の皆さんの参加により、えびの市内の交通事故防止にご協力をお願いします。

【運動の重点】

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 飲酒、暴走、過労・居眠り運転など無謀運転の防止
- てげてげ運転追放運動の推進
- セーフティエコドライブの推進

5月の交通事故 発生状況	人身	11件	本年 5月末	45件
	物件	23件	本年 5月末	135件

■えびの警察署 ☎33-0110

# ふるさと散歩

Furusato-sanpo

164

## 悲劇の球磨御前と保寿院



保寿院の門前にあったといわれる仁王像（首なし地藏）

飯野町区に秋葉神社が建っています。ここには昔、「保寿院」という寺がありました。この保寿院は、島津義弘が奥方の「球磨御前」（「辺川御前」）の霊を供養するために建てたものです。戦前までは大きな木の下にたくさん墓石があるなど寺院跡の名残が残っていました。

時は戦国時代、南九州では、島津氏、伊東氏、相良氏と三者が鼎立。一五六四年、島津氏はこの最前線である飯野城に義弘を置きました。その頃の島津氏と相良氏の関係は良好な時期でした。相良氏は島津氏を信用させるため、起請文のほか、相良家の姫君（球磨御前）を義弘に嫁がせました。当時、このよう

な政略結婚は普通のことでした。

一五六八年、大口方面に勢力を張る菱刈隆秋が島津攻略の兵をあげました。その挙兵に相良義陽が加勢をすることになったのです。このことで島津氏と相良氏の関係は破局をむかえました。島津氏内部では相良氏の裏切り行為に対する非難の声が高まり、それは義弘に嫁いだ球磨御前へと向けられました。義弘は球磨御前の身を案じ、加治木の辺川へと彼女を移しました。

しかし、家中の球磨御前への非難の声はますます激しくなり、離縁せざるをえないところまできました。

義弘の使者が加治木の球磨御

前のところに派遣され、実家の人吉に帰るように伝えました。彼女は人吉に戻る気にもなれず進退窮まり、絶望し、ついに近くの滝つぼに身を投じて自殺。相良から彼女に付き添ってきた侍女たちもあとを追いつつ死したと伝えられています（別の説もあります）。

義弘は、この非業の死を遂げた球磨御前の霊を供養するために保寿院を建立し、自ら参詣しました。また、一五八九年には加治木に「くま姫神社」が建てられ、殉死した侍女たちの霊もあわせて祀られました。このくま姫神社は、今も加治木町に現存しています。

（文／えびの市文化財保存調査委員会）